

定されたコースを正確に進みながら、その途中に設定された、いくつかの関所（関門）を通過するために、グループ全員の協力と衆知によって問題を解く、班別対抗の競技である。

子供たちにとって、未知のコースをたどる不安感の克服や関所での意外性、コースの選択における的確な判断などに、強い魅力を感じるようである。全コースを踏破して、ゴールで汗をぬぐう気分は、まさにそうかいといえよう。

(3) オリエンテーリング (OL)

広大な山野の中に設けられたポストを求めて、他のチームと競いつつ走り回るOLは、心身の鍛練と正しい判断力、読図力、更にはペアの協調性を高めるために最適な、すばらしい競技である。当所では、主に初心者向きのスコ



山野のポストを求めてオリエンテーリング

アOLを採用している。三十三万平方メートルの山野に設置した固定ポストを、絵地図をたよりに探し、ポストに付された点数を、短時間に数多く集めるのを競うものである。手をつないでゴールする男女ペアの表情には、喜びと満足感があふれ、この感動の一瞬は容易に忘れ得ない体験となる。

(4) 野営場と炊飯活動

野営場に建つロッジ七棟、二つの炊飯場、四十張が設営されるテントサイト。ここを舞台に野外宿泊活動が展開される。

現代っ子は、消費経済生活の発展に伴い、自然の中に起居し、自分たちで食事をつくり、不自由さの中でくふうして用具を使うなど、失いかけている。仕事を分担し、その実践を通して、責任、協同のたいせつさに気づかせ、テント設営や炊飯活動によって、家庭への感謝の気持ちや協力する意欲を高めることができる。

(5) サークットコース

谷間にかげられたつり橋、広場にそびえ立つ丸太のやぐら、空中に設定されたロープ・ブトンネル……

これらは、当所の特色ある研修活動の一つで、サーキットコース上の施設である。起伏と変化に富んだ山野に、周囲の立地条件を生かした、全長二キロメートルのコースには、五十六のポイントがある。道標をたよりに進みながら、ポイントに付された指示に従って行動し、子供たちの興味や冒険心を満



浜通りの子供たちのそりすべり

たしながら体力づくりを図っている。

(6) ゲーム遊び

「子供にとって、遊びは学習である。」といわれる。テレビの画面に釘づけになったまま、余暇を過ごす子供たち。そんな現代っ子に、いろいろな遊びの経験を与え、ここでの遊びの体験が次の遊びの領域拡大につながるようなゲームを試みている。例えば、野外での旗とりゲームでは、広大な地形を生かして陣地を構築し、攻防相みだれての紅白旗争奪戦が展開される。引率教師も童心にかえってのゲーム参加を見るにつけ、ほほえましさを感じる。

(7) 登山

五月から十月にかけては、海拔八百七十六メートルの御霊櫃峠への登山に人気が集まる。

登る苦しみ、頂上に近づくにつれて、楽しみに変わっていく登山では、互いに助け合い、自己の体力にちよう戦し、完登する喜びと成功感を体験させる、よい研修の機会である。堀口浄水場から山頂まで七キロメートル、小学校低学年でも登ることのできる、往復六時間のコースである。

(8) そり遊び

吹きすさぶ寒風、手がかじかみ、ほかに雪が付きささる。こんな冬の自然のきびしさを体験させようとの考えから、浜通りの研修団体の冬季間利用が多い。

野も山も雪に包まれた白銀の世界を、雪けむりを上げて突進する、冬の遊びの花形そりすべりは、そのスリルとそうかいさに人気が集まり、終日、グレンデに歓声が絶えない。

四、終わりに

利用団体の多様化と同一人の利用ひん度の増加に伴い、従来の研修内容に検討を加え、より充実を図るとともに新しい研修活動の創造が、当所の課題である。

本年度においては、小学生や中学生の発達段階に対応できるよう、ハイキングや登山コース及びオリエンテーリングの開発を進めているところであるが、今後もユニークな研修活動が開けるような、少年の城づくりに努力を傾注したい。